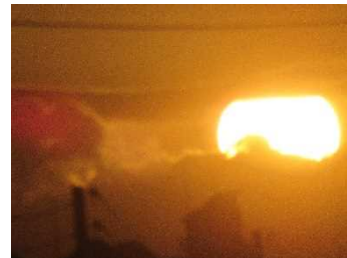




あけましておめでとうございます。いまだに先の見えないコロナのトンネルですが、体調に気をつけながら、そのなかでもできることを進めていきたいですね。一日も早い収束を願っています。

お知らせ

- #弥生の茶会 3月6日(土) 草志舎
- #マーマレード作り 3月9日(火) 草志舎
- #ヴォーリズ六甲山荘スタッフ研修 3月20日(金・祝)
- #ヴォーリズ六甲山荘大掃除と公開準備 3月28日(土)
- #ヴォーリズ六甲山荘一般公開再開 4月3日(土)



【コラム】

明日への道

清水 彬久 (理事長)

今猛威を振るっています新型コロナは、私たちにとって経験のない事態です。この試練は私たちに忍耐を教えてくださいました。感染予防のためにマスクを着用します。しかし、そのマスクには心があるのではないのでしょうか。そこには、共にこの難局を乗り切ろうという願いと、働きかけが安心と信頼関係を生んでいます。このような状況は、過去に意識をしたことのない他者を敬うという新たな交わりの印であることを実感いたします。この人類の危機は、今の世に見過ごされがちな強い連帯への気づきが隠されているように受け止めるものです。

大正時代に生き、20歳で夭折したアイヌ女性に知里幸恵がいます。彼女はアイヌ民族が口伝で継がれてきた謡を日本語で編訳しました。そのアイヌ神謡集の序に述べている言葉に強く共鳴しました。昔の北海道は、美しい大自然に抱擁された幸福な生活であったことを語り、同化政策でその生活や自由を拘束されてきた心境を、次のように述べます。「激しい競争場裡に敗残の醜をさらしている今の私たちの中からも、いつかは、二人三人でも強いものが出て来たら、進みゆく世と歩をならべる日も、やがては来ましょう」。ここにも絶望的な現状を打開したいとする忍耐する意思をみてとるのです。

昨年は、創立20周年の記念事業を企画していました。しかし、コロナ禍で第10回・英国ナショナルトラストの旅のような中止や延期する行事を余儀なくさせたのは残念でありました。ただ、1年半をかけて整備してきました第2プロパティのヴォーリズ記念・きょうだいの森が文化財と自然の共生というテーマで予定通り開場できました。そして3年間募金をお願いしてきましたヴォーリズ六甲山荘の屋根の葺き替え工事も完了し、今まで以上に凛々しい姿を現出しています。その他下期に入りまして、小規模ながら和気あいあいの20周年記念会、内容の在るヴォーリズ建築展「失われた名邸宅」等を開催することができました。そのなかで一般公開に嬉しい現象がありました。4、5月の緊急事態宣言の期間中は中止していたのかかわらず、コロナ対策禍8月以降予想できなかった来場者があり、通年で前年を上回る870名の来場者となったのです。また、新機軸として検討してきました文化遺産信託研究会は、春の設立総会の予定を延期し、8月に開催され無事スタートを切ることができました。幅広い活動ができることを夢みしています。

進行中の事業としましては、旧室谷邸の門から玄関までの回廊の再現部分と展示コーナーからなる休憩所の建設があります。設置場所は、きょうだいの森の小寺池と石垣広場に挟まれた傾斜地で、三態が一带となった景観が実現することになります。休憩所の名称は、「室谷邸記念館」としました。4月には開館することになっています。ご期待ください。

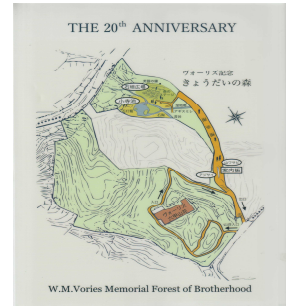
今年は、新たなヴィジョンをもって明日の道に踏み出したいと思います。それはアメニティ 2000 協会の事業基盤を強化・拡充する方策をもって理念である「やさしい文化の創造」のための具体的な戦略をたてていく計画にしています。

最後に、精神科医フランクがドイツ強制収容所の体験を記した「夜と霧」の一文を紹介して終わります。

「たとえどんな困難の状況にあってもなお、生命の最後の一分まで、生命を有意義に形づくる豊かな可能性が開かれているのである」。

*** 創立 20 周年事業の報告 ***

2020 年度はアムニティ 2000 協会の創立 20 周年の年で、記念していろいろな活動を行いました。ご報告はその都度に掲載していますが、以下にまとめてみました。



<ヴォーリス記念・ぎょうだいの森開場>

2018 年に購入した六甲山荘の隣地は「ヴォーリス記念・ぎょうだいの森」と名づけ、1 年以上の整備を経て 2020 年 4 月に公開をはじめました。

<ヴォーリス六甲山荘屋根葺き替え>

7 月から 8 月末にかけて工事が行われ、屋根とリビング煙突がすっきりと美しくなりました。
なお工事代金の半分については文化庁から補助金をいただきました。



<ヴォーリス建築展「失われた名邸宅」～旧小寺邸と旧室谷邸～>

六甲山荘にゆかりの二つの邸宅をテーマに、9 月 19 日から 22 日まで開催しました。これまで未公開の写真などもそろえた見ごたえのある展示で、期間中の来場者は 131 名もありました。



<創立 20 周年記念会>

10 月 17 日（土）ヴォーリス六甲山荘を会場に開催しました。
第一部は室谷邸記念館の構想と内容についての説明。
第二部は畑儀文さんのミニコンサート。
雨のなかこころ豊かなひとときでした。

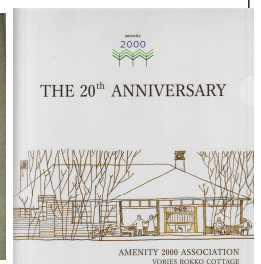


<永年会員の表彰>

今年度から在籍 20 年の会員を「永年会員」として表彰することにいたしました。
今年度は賛助会員をいれて 21 名となります。

<記念グッズ：エコバッグとクリアファイル制作>

皆さんの身近に使っていただけるものとエコバッグとクリアファイルを制作しました。デザインは長瀬信博さんと角倉起美さんをお願いしました。



<アムニティ・レポート 20 周年記念特集号発行>

創立以来の 20 年を振り返る記念号です。カラー写真のページを増やして、20 年の歩みをわかりやすく紹介しています。

<文化遺産信託研究会発足>

8 月 24 日に六甲山荘で設立総会をおこないました。現在会員数は個人 66 名、賛助団体 2 名です。12 月 5 日にはセミナーを開催し、活動を開始しています。

<室谷邸記念館の建設>

ぎょうだいの森の敷地内に旧室谷邸の門廊の部材を利用して休憩所を建設します。その名称を「室谷邸記念館」とし、旧室谷邸に関する展示も常設する予定です。完成は 3 月末の予定です。



<新規事業企画委員会>

認定 NPO 法人であるアムニティ 2000 協会は収入の一定割合以上は寄付金でなければなりません。その協会の資金的に応援するために収益事業を行う組織をあたらしくたちあげます。

第4回～弥生の茶会のご案内

梅の花をながめながら薄茶を楽しむ会です。草志舎の枝垂れ梅が見頃をむかえる時期に立礼での点前で、作法にこだわらず気軽に一服いかがですか。ご希望の方にはお弁当も用意いたします。

月日 **3月6日(土)** 午前11時～午後3時(入場は2時半まで)

場所 草志舎(阪急西宮駅から徒歩3分)

内容 薄茶席

参加費 会員 1000円 一般 1500円

お弁当 1200円見当(希望者のみ・要予約)

申込締切 3月2日

(お申込みの際 お弁当の有無もお知らせください)

詳細は同封の案内チラシをご覧ください。ホームページにも掲載されています。



室谷邸記念館工事始まる

きょうだいの森の室谷邸記念館の工事は11月15日から始まりました。工事車両のため県道から導入路をつくり、寒さが本格化する前に基礎工事のコンクリートの流し込みを終えたところです。寒いなかでの作業は大変なことと思いますが、3月末には完成の予定です。楽しみにお待ちください。



ご報告 文化遺産信託研究会セミナー 12月5日(土) 草志舎

文化遺産信託研究会の活動としてのセミナーです。室谷邸記念館の建設について詳しい解説、展望を飯畑正一郎氏と津枝勝見氏が語ってくれました。ティータイムでは山形政昭氏などと活発な意見交換があり、充実した内容となりました。



ご報告 ヴォーリズ六甲山荘大掃除 11月23日(月・祝)

コロナのため、三井住友信託銀行の若手ボランティアの参加はなく、会員だけでがんばりました。屋外は案内板などをかたづけ、落ち葉掃き、笹刈りを行い、屋内では床や壁の拭き掃除と家具を片付けました。



雨戸を開める→

ご報告 畑儀文の合唱教室 11月24日(月) 12月21日(月)

秋の歌、クリスマスの歌と季節を感じさせる美しい楽しいメロディーがひびきます。コンサートや合唱団の練習も少しずつ行われるようになってきました。みんなで歌える喜びが戻りつつあるようです。

ヴォーリズ六甲山荘 2020年の実績

六甲山荘の公開もコロナの影響をまろにうけました。4月の公開を始めたとともに緊急事態宣言のため休館を余儀なくされました。5月末から公開を再開しましたが、結局昨年より18日も少なくなりました。ところが来場者数は昨年より100名近く多い872名(六甲山上建物ツアーをふくめて)ありました。おそらくステイホームに飽きた皆さんが、近場で空気がきれいで、密にならない場所として六甲山に来られたのでしょう。とくに9月後半から11月にかけて人数がふえ、9月21日は48名(団体なし)というびっくりの数字となりました。スタッフは目がまわるような一日でしたが、ありがたいことですね。

公開日数	57日
来場者数	872人
一日平均	15.3人
スタッフ	のべ140人
1日平均スタッフ	2.5人
スタッフ参加者	18人

感染対策としては①マスク着用 ②手の消毒 ③換気のため窓を開放する ④椅子での間隔をあける ⑤ペーパータオルを使用する ⑥入場者の人数制限 などを実施しています。

六甲山荘たより

10月、11月の六甲山荘

六甲山は秋がにぎわうのですが、今年はとくに多かったようです。ケーブルには外国人ではなく日本人で満員でした。11月は5日間の公開で148名も来られました。

11月23日には大掃除、12月5日には水道を閉栓して、山荘は冬ごもりにはいりました。

公開日数：14日

来場者数：329名（六甲山上建物ツアーふくむ）

マーマレードをつくりましょう！

熊本の中嶋祐一さんの甘夏を使って今年もマーマレードを作ります。添加物を一切使わないおいしくて安全なマーマレードができます。皆さんから寄付して下さったガラス瓶に詰めて冷凍保存し、六甲山荘で売ったり、希望者にお届けします。このマーマレードをご一緒に作ってみませんか。

3月9日（火）午前10時～夕方

一部の時間でも結構です。

場所：草志舎（阪急西宮北口駅から徒歩4分）

持ち物：エプロン、包丁

なお昼食は簡単ですが用意します。

おいでになれる方は3月7日までにご連絡ください

アメニティ・レポートの原稿募集

5月の総会にあわせて「アメニティ・レポート2020」を発行します。そのなかの皆さんの投稿欄「会員の声」への原稿を募集します。ふだん思っていること、最近読んだ本、見た映画、腹のたつこと、笑ったこと・・・なんでも結構です。友だちにおしゃべりするような気軽な気持ちで文章にしてお寄せください。

字数 400字前後 締め切り 3月末日

FAXでもメールでも郵送でも、事務局までお送り下さい。皆さんの原稿お待ちしております。

ヴォーリス六甲山荘スタッフ研修と公開準備

六甲山荘の公開にはお客様をむかえるスタッフの研修を行います。スタッフはマニュアルもあって誰にでもできる内容ですが、研修を受けておけば一層安心です。

研修日は3月20日（土・祝）です。

やってみようと思われる方は前日までにご連絡ください。

また**公開準備と大掃除**は3月27日（土）に行います。こちらにもご参加ください。

室谷邸記念館作業ボランティア募集

記念館の床には角倉起美さん制作のレンガを貼り、壁の一部にはベンガラを塗ります。この作業を会員で行います。室谷邸の息吹をよみがえらせる作業をご一緒にしてみませんか。

3月下旬の予定です。詳しい日取りは決まり次第お知らせします。

募金のご報告 10月～11月

10月～11月に次の方々から募金をいただきました。

ありがとうございました。（敬称略）

***文化遺産継承基金**

《10月、11月合計 33,277円 2020年度累計 1,402,085円》

残念ながら2021年の新年会は関西、関東とも中止といたします。

室谷邸記念館工事はこのようにすすんでいます



⇒



⇒

